貿易き保護ユ科大海軍を支持州他國民母掠奪を是事のの不自然

十二月節

初

十二月中 十一月中

+

六 大

H H

廿一廿十 日月 日月

H

九

th

五日 五

计十 计九 廿八 四 四 日月日月日月

+

月 月

節

+ 九

九

節

(廿)

H H

八十九十九九 九九日月 丙月日月

Ħ

मी

H

Д

月

節

廿九日

振替口座京城四三五〇番

七氣候、地理、或や地質四條作の習遍的のヨ저吳하나リ一國ヨ經

가英國氣候の七適合 の中印度の周圍狀態や英國斗 リ四海愛讀 家僉位 七陸續注文하べる全内 かとり多小를勿論하立特別司迅速酬應하全 類及新舊小說等 号無漏具備하る立都賣散賣 以上에記載这書籍外の在種參考書外唐版書

冊定價三十五錢

京城府觀水洞三十番地

發音法 習譜 定價二十五錢

H

定價五十錢和一十錢

年 不可

節

三五

兒外 科科

番地

| (行) | (大) | (大

5月月 日以始祖之聖徳洪功の皇必有光子徳萬斯年の月子以外,北蘇汾行後皇注文の路至が斗今報館刊行中の学別外,北蘇汾行後皇注文の路至が斗今報館刊行中の学別外,北蘇汾行後皇注文の路上が東京都傳集之份勝る 並線無過が 三筋節か吐が 中野濱のその 以至腹殿國配斗十王年譜が八大君以後各派蹟のその 以至腹殿國配斗十王年譜が八大君以後各派

要返信郵票)

修

聯二二	十 六	百	八	\$ 5,	報	В	斯			日九	十月	→ 年二		了認物更質) ===
『日本の日の一人佛兵師を行るのは、日本の日の大人佛兵師を行行の一十八日後常)『日本の日の人命成立、中央の一大日後、日本の日の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の	日本学院 日本学院院 日本学院院 日本学院 日本学院院 日本学院 日本学院 日本学院 日本学院 日本学	の 対外 に 以上 は で 関 大 で の し 対 と こ で こ の に 対外 に 又 其 と は で は は す で は は す き の に 対 と こ で こ の に 対 が に す は で は が に で 的 は 対 と こ で こ の に 対 が に す す る に が す ら の に 対 が に す す る に が す ら の に 対 が に す す る に が す ら の に 対 が に す す る に が す ら の に 対 が に す す る に が す ら の に 対 が に す す る に が す ら の に 対 が に す す る に が す ら の に 対 が に す す る に が す ら の に 対 が に す す る に が す す る に が す す る に か す る に か す す る に か す す る に か す な な に か す な な に か す な に か す な な に か す な な に か す な な に か す な な に か す な に か す な な に か す な な に か す な な に か す な な に か す な に か す な な に か す な な に か す な な に か す な な に か す な な に か す な な に か す な な に か す な な に か す な な に か す な な に か す な な に か す な な に か す な な に か す な な に か す な な に か す な な に か す な な な な な に か す な な に か す な な な な に か す な に か す な な な な な な な な な な に か す な な な な な な な な な に か す な な な な な な な な な な な な な な な な な な	(伯林士六日麓) 佛白兩國軍隊 ラール 一別 ムミ」 外 コ の 」 が	マー マー 学 製 当 当 当 当 当 当 当 当 当 当 当 当 当 当 当 当 当 当	「前町日間の人生『青」の内が進車中町の地での投行するようでの一切」河以北の擴張司線様のような中で中人内はら領線で「町部の侵入から中で中の中の中其ら領線で「いっ世部の侵入から中で中で中の中共ら領線で「いっ世界」が「一道地」の世界とは、一個地域軍隊に更可『早ーの』地上の一個地域では、一個地域は、一個など、一個など、一個など、一個など、一個など、一個など、一は、一個など、一個など、一は、一個など、一は、一は、一個など、一個など、一個など、一は、一個など、一個など、一は、一個など、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、	整の中立傳한다더라 「日皇純經濟的性質を減かれ 獨逸の抵抗 世界の 在も獨逸の 医療の と 一、 と 2 を 2 を 3 を 3 を 3 を 4 を 3 を 4 を 3 を 4 を 3 を 4 を 3 を 4 を 3 を 4 を 3 を 4 を 3 を 4 を 4	獨逸對佛防害策	名つずる	野りよう は、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	中『泉人叫』氏不在中と『豆平丸』中『窓と省覧すりすりみ 一菱地と上海の到着も後決定を引の 統選擧代見各省五十萬元式辦備す 、時十五分發生上海の向かりと日靜 直線系各省督軍、都統の對から總 りる 一覧員二名を同伴がユーベ日午前十 (北京建) 江蘇督軍齊燮元氏小府で	「東京電」祭農化表「品へ到」で 江蘇収露 法上海發向 助き中止等ま	日間氏小更可能東省長の耳引引用 各議員で排給入司具紡甲の郷督氏を市長二三和 曹銀氏 単緑紙 単緑紙 単緑紙 単緑紙 単緑紙 単緑紙 単緑紙 単純 (と 東 ・	郷氏省長? 議員福兵軍東入市	山東議會、田督軍免職電清	中政府の提出対象建議米を提出がますの中、近年の連備を整領を必要上審議院督促をがゆ 速き属来を悪決なる日間取り連備を整領を必要上審議院督促をがら 連ば同来を悪決がなる。同年の提出者等を開設租借期限率を認識に 過附ものを仍置で放る 同年の提出者等を開設租借期限	協約無効建案提出	中國政
中央	表『見の何の』氏や獨逸小有も境遇の此の處と規意『目前のと日英國代表を前次本中此納付四義務為の石炭及家畜引渡者の對前の其後收号場託の此の後後家畜引渡者の對前の其後收号場託の	と金の以下を對上の対象を対象の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	5 133	丁事端の勃發多開か山出一日の大台の富智の一事端の勃發多開か山出一日の大台の富智を成年を経験か立對議會の一地租封城案	中国帰軍の国際行列と日間では、東京電)日本態政督と、「中、其占領線・と『引、「東京電)日本態政督と、「中、其占領線・と『引、「東京電)日本態政督と、「中、其占領線・と『引、「東京電)日本陸海里と、「中、其 古 の は	地方+緩衝地帶呈世計四名。豆次定可以中可引引地方+緩衝地帶呈世計四名。豆次定可以中可引引速。一紙至獨逸の抵抗、社會局參與モ馬揚法制局長獨逸의實業家及高官中(東京尼)日本新官制の壓迫。豆州報史不可一一一一	一大大 可提出 可提出 可提出 可提出 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可以 可		日、政府・日本人間の直接 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	では、 一般の では は できまり できまり できまり できまり できまり できまり できまり できまり	10 10 10 10 10 10 10 10	不公平せ校呈保定方面三一時該運(東京市)日本漁業家の登録しず締結がませら分排方法の 交渉 解決 田 で 一 交渉 解決 田 で 一 の で の の の の の の の の の の の の の の の の	・急行すれ	抗議を通過する	タ 質	一個條目中語的無効 爱東 世	米、布
個 大き は は は は は は は は は は は は は は は は は は	双公司目的を完全 ヨモそこ思하立又水産的と「魔を規定を缺す 對하りた施行規則中の相當に当義務を怠む者 ヨモ途を設むなり斗此等ので駆託が刈者互認 の異議の中立及裁決の申請でも勿論の2府前 がりを期がり為かり其徴収	村 の	會令發布可對かの	大学の関すい地租 リカエ次官の 三郎の代数判数 当時の関すい地租 リカエ次官の 三此の代数 1 上程 3 り 3 一段 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	中六日 行力が側では三日前京 ・十六日 行力が側では三何等の問題 ・中 は (東京記) 齋藤総督の臨 ・ 東京記) 齋藤総督の臨 ・ 東京記) 齋藤総督の臨 ・ 東京記) 齋藤総督の臨	大大 では、 一番の では	하い約三時間等 突然が日本爪哇間の運賃す約三時間府會議等 2) 會社兩洋郵船、大阪商船、は濱尾副議長の組織を瓜哇、中域、印度、運搬、日濱尾副議長の組織を瓜哇、中域、印度、運搬、	11年前十時里中(東京電) 瓜哇往航泳賃同年業 運賃了下運動の上奏問題の料 ではのみとは関係の対しては、一次では、一次では、一次では、一次関係の二三氏小総裁の整理の至外の対対、一般開設がのの形質が、	間の直接交渉ので則同氏を決定せると美濃部外國人間の商品事を選定せ必要小有も単後任以上の便宜を寫 前のと臨時總費を召集する後	政時代の條約4 かかそ日同行の決策報告のとに対すると、外別のようなも同行の決策報告のとはからた4知が依めら同行の決策報告のとにはいいからた4知が依めら同行の理がと規定のにはいいがある。	《中国原的网络 医神经管 開催平水中叶水平 医二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	日本漁業家代表と今 羽鬼里事選子	中露返境で増兵する恰似が戦時中如うの分展政府と中継関境で増兵する恰似が戦時中如うの	はの) 英国技術主協会と帰属するテーツ語方点の 英国技術主協会と帰属するテーツ語方点 (作成の) 早の 』地方占領の) 對からいコーゼ (自力) 当日 (対) (日本) 当日(タンゴーゼ)	「17の Man 4 「12 公民 TAIL SEPTER TO 12 の 12	一爆彈投	- P.
北寺町 一番甲青蘭努力を要替を切飾りを持ち、 素所機の一端を披露の中では、 大変の 地域の 中で は、 本の は、 まの は、 本の は、 まの は、 ま	手数は、おものである。 とうしょ 一般は は第二合議室の 4三十本山住持各位が現まる 一番調整室の 311元十四十十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四	なる故 持會議の内 生 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	「下小協力一致하呼我朝鮮水産業量後後の下小協力一致하呼我朝鮮水産業量後後の「大人」	は な は な に に に に に に に に に に に に に	城電報 及其聯合曾斗近斗創設 日本水産自創立 即名適當 む時機が 魔山 耳 五 又漁業 同計時首相 削除 計川 耳 川 子 高 報 と 水産 組合 明 と 適當 む 時機が 脱山 耳 五 又 漁業 同計	19年計 水産館合の使可の新さの資料と表にいり 水産組合を同時の此を解散かり 豆 後れない。 小谷 年支部の道水台三 改む 本著 明 か 上 と で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で	二割 当 目的及施股業務斗同様で放豆 郎 年末 計斗共も其目的及施股業務工水産 銀悉 日本 き決定も作用斗流用書認定対せの 水塵 銀数 と 一	田中・諸般の施設・高市五其毎年度の京城の前の東西での大き間市の道の西域の依ち渡来者の全部を網維から沿海十二十五漁業者の全部を網維から沿海十二十五漁業者の全部を網維から沿海十二十五漁業者の大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの	総裁 産組合及統督水産組合を道水産行立準最多 + 慶南海藻水産組合 本浦海藻水 督府最多 + 慶南海藻水産組合 東田 地名 野中 で は 一	建寄 含郡統營面 *地區呈引立地區内 * も朝 オール * 本浦海藻水産組合(四) 慶向南道統 印刷 * 日本 * 本浦海藻販資業者せら豆組合もなど 局部 * 大き 4 漁藻販資業者せら豆組合もなど 局部 * 大き 4 漁漁販資業者せら豆組合もなど 局部 * 大き 4 漁漁販資業者 * ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	2、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1	相斗と対の小此等の風分の割かいと施の記れのいと対の小此等の風分の割かいと施の報告を対して、おいいとをは、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、	正確 朝鮮總督其他の事項を総の地方長 近時 中の時後の東京変が事項を総の地方長 近時の水産會の監督を置めて事項を制めたと サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・	世失態の無利な量勢力スサのおの 業をの観す かい其他各種男弊害者膜生なみが 法人のおと同時の少三記様以と違法の目 かいに	・ 女性質を照りまま行政上指導監督 a 第2年期 水産育セ水産業を開き公益的第三子中の展展 (七)水産(會の)監督 ロルコ	の事で公司が行うには、「大き」では、「ないま」では、「大き」では、「大き」では、「大き」では、「大き」では、「大き」では、「大き」では、「大き」では、「大き」では、「大き」では、「大き」では、「大き」では、「大き」では、「大き」では、「大き」では、「大き」では、「大き」では、「大き」では、「大き」では、「大き」では、「ないまり、「ないまり、「ないまり、「ないまり、「ないまり、「ないまり、「ないまり、「ないまり、「ないまり、「ないまり」では、「ないまり、「ないいまり、「ないいまり、「ないいまり、「ないいまり、「ないいいいいいは、「ないいいいは、「ないいいは、「ないいいいいい	
有金貨出減少 大正十年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年	京城金融狀况 同十一年 神中の中 日本 一 日本	縮方針を収替りです一般府民の大正六年本府鎌第の縮少で件하ら此之又 一切所の編成中で十三年度豫築を グラモがに	京府豫算緊縮 少年國有林模樣の中日中 明本經營日本大大十名章	即業初年度『七年一分内外星額 皇注目の七脚業初年度『七年一分内外星額 皇注目の がいい アース 火總督府印刷局貸下許 東縣附近のたら 呈着々創立事務を進捗がず 業の減退を1日以の至めの創立事務を進捗がず 業の減退を1日以のの登録のである。19 「服务を持ち其」の「服务を対し其」の「服务を対し其」の「服务を対し其」の「服务を対しました。	上事務所の朝、火災保険食吐が金豆交付がでける一般、大災保険食吐が金豆交付がで引受を引のり一般質成人の一般中級人ので引受を引のり一般質成人の一般中級人の一般の公婆当中作鑑杯の下の一般の公婆当中作鑑杯の下	は、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	《第〈签山) 李炳學 大邓) 大位 等增数学 地方 富田儀作《銀南浦) 香柑 算 + 極度 9 堅次郎 賀田直治 韓相龍 班 中十二年度 8 要次郎 賀田直治 韓相龍 班 中十二年度 8	業 著写 財	「関係などのない」というのでは、現代のでは、現代のでは、関係などのでは、関係などのでは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象を	計画 音 計画 手 二	創立事務進步 事 形灵芸 · 新田刷會社 · 贷 越 · 公	学が寄りられて、	の大き女 座前を対する かった で 一	企造者で至す文令を終析界地に対する本来寺共同での植り、一月時間のでは、別の日本のでは、日本のでは、別の日本のでは、別の日本のでは、別の日本のでは、日本のでは、別の日本のでは、日本のでは、別の日本のでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本のの	伝当大な可利な生だで置るで、八千馀間のような日本寺可時勢を『親海派の 観音を看を割る 斗斗 一般の家少で止れる 一般の家少で止て 努力がバイモ 製む いっこう 三十四萬餘國	不願き成就がおい斯昇の副和中の顧客が被数が化り度難を撃り立済世初から増加の主頭時の部内各守手統一、導い、闘の波送から改議が行うい範を大衆のガネ反がの後出金の語が行うい範を大衆のガネをしまった。	医甲氧甲环 计途径 医沙漠皮膜 二十八萬八千七平素寺坊敷 20甲注放中亚寺 同期可现在可以不素寺坊敷 20甲注放中亚寺 同期可犯在可以不
中 大城五割 日本三割 日本三割 日本三割 日本三割 日本三割 日本三割 日本三割 日本三	Table Mark Mark	: O It	き出願が七中の中今の おおき必然が調査を用かられ更が八千町 台の野む職分の三型は付き願かの朝鮮人 の努力立みなそこ	中の2安東縣の内製糸の中の2安東縣の内製糸の利用なの無限な趣味の利用なの無限な趣味の一旦なりのに供答すらるの三多少斯の上のは、中央が大きの以外然の近者安け、東京のは、中央が大きの上多少斯の2分から、三多少斯の2分がでした。	※立大正六年の七此의 中窓林の野からと補助 必要呈認計を發表すれる 一年頃十日 賦與や職權の呈早日 中部治四十二年頃十日 賦與や職權の呈早日 日本の治の方。 日本の政治の政治の方。 日本の政治の方。 日本の政治の政治の方。 日本の政治の政治の方。 日本の政治の政治の方。 日本の政治の政治の政治の政治の政治の政治の政治の政治の政治の政治の政治の政治の政治の	湖 省	 シュッチを	通學校 整通學校 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是	八二八里、三二、五 等終察課長 #第一合 八二二 三、三二五 等終察課長 #第一合		3、 三	元、三二、三、三、三、一、一、一、一、一、一、一、三、三、三、三、三、三、三、三、	特別の大学の関連の大学の関連の大学の関連の大学の関連の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	十二月下旬 京城局 9 電話 地下一	今で其中間に小手宗と、「一里、配達一割の手、当百四十八萬九分一厘、配達一割のサユ叉伐出中減退小」が「腫、配達一割の主主共他の預金七小期で對比を時と遊窩」	諸頂金三 ボルモ軍 大力モ軍	関す時間でするT X を以上の大 いちを頂金T 一千円 通信向する調 のカユ更可此者昨年 野 便 M
中中1 里 妨害。 域線	一九六〇 四十六八八九〇 四十六六〇 四十六八九〇 四十六〇 四十六〇 四十六十二十十六十二十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	が	安取 一九四〇 一九四〇 一九四〇 五	型 株式仲賢人 全	*可持45可称 浴みの結局四十銭の止場のでは、大きのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、はないでは、ないでは、はいいは、ないでは、ないで	要	級ニュート 一十二人 関ル十代 のマラー のでは、取五 のでは、取五 のでは、取五 のでは、取五 のでは、取五 のでは、取五 のでは、取五 のでは、取五 のでは、取五 のでは、取五	聴きいい	「大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	新築工事の著	おおり リーニ・・ 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	起工期である。	西河関連を経済 100°も0 一 寛料	1 大月級 二四八、00 二五 1 大月級 二四八、00 二五 1 二本	二厘升增加引三月器 二四四°九〇二四五°分一厘、小包二月是 二四二°〇〇二四三°、郭便物引受九一月是 二三九°九〇二三八°、郭便物引受九	東部作詞 一月十八日 小辺引奏 大 阪 三 ・記述二	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1
大八、〇〇 (本) (記) 三〇 (本) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記	一世 一世 一世 一世 一世 一世 一世 一世	取 名 今 诞中 米 逃中 米 逃中		(元) 小池社後阪地俄然四十七段으로反 の一月十八日前場 場が中・二節二十九段・三八銭々ス が一月十八日前場 場が中・二節二十九段・三八銭やス が中・二節二十九段・三八銭やス が中・二節二十九日前場 場が中・二節二十八日前場	中 本	以場そ八 低帝者件可正當中兩限4亦不成の上的源有 先限4四十五銭 明知 明 中 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	市本の三節 阪地四の三十九銭の稍十然介曜がダイイ四十四銭の止がみ 新八銭の刃小押を後四十九銭の刃突歩	な関立を関取	(A)	三國二十錢也前止價里十一丁高司三國二十錢也突高者接許立當中兩限十十七錢也突高者接許立當中兩限十十錢。至四一十七錢也突高者接許立當中兩限十十七錢也與一十七十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	一〇 止價斗同様も情報を擦す立立官が五〇 ▲第一節 常限を不成の小巾限を五〇 H		から今前男や大阪ニナ八四三十二銭で 松田慶之助	九〇 仁川府海岸町三丁目 (騰落海波系)	20 月十七日後場 七 川 期 米	日 金組 11円四 (00 11円四 (00 11円円 (00 11円 (00	金布進革 一三、四〇一世来為 二三、五〇
新 新 新 高 所 1000 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	- 元 - 元 - 元 - 元 - 元 - 元 - 元 - 元 - 元 - 元	編集 () 	保名 育週中 水週中 本週中 本週中 水週中 本週中 水週中 本週中 本週中 本週中 本週中 本週中 一	1第 二十三國〇三段 条 二十三國 二十三國 二十三國 二十三國 二十三國 二十三國 二十三國 条	安備 二十二個八十九錢 二十二個八十九錢 二十二個九十四經 二十二個九十四經 二十二個九十四經 二十二個九十四經 二十二個八十九錢	世 仲 買 店 株式會社仁川米豆取引所仲買人		・ ハ 星 平 止 小 先 入 ・ 市 高 限 電	司二十二圓九十八錢으로下押も後で始하り五錢々以小筷み3十三圓○二錢 ▲白米十錢一口豆先服4二十三圓○二錢 ▲白米を受하五當限4不成の4中限4五	型型 · 大 · 克 · 克 · 克 · 克 · 克 · 克 · 克 · 克 · 克	に転送三九番川に	及 5 中 1 1 1 1 本期 安度 光中 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	○星反落も後九十八銭の止め B 十銭の刃小高も後二十二圓九 取る不成の可先限も○九銭の姶 一部 情限二十一圓十銭으로 一節 情限二十一圓十銭으로	C /// 100 i	一電 略『チ』を	張最根仲買店	三国蹇+就被引ュ二十二四九十錢 十二十四九十七錢以情勢斗共引亦二十 六節後欧地稍々任務可步嗣王止候二十 五節
地域 新 での 一	中機・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・		名製部	聚 五斗入 一、五七七 五斗入 一、五七七 八二 八二 八二	藤	五四七五四七 七五四七 十十十十八 十二二二 十二二二	五 五 四 七 十 九 十 九 十 九 十 九 十 九 十 九	の 仲 買 店	五四六五十八八五十八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	五石三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	物在	総石数 十二萬四千三百石 限 四萬三千二百石	SE TO LEE	東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東	二十三明〇三明十三明十三明十三明十三明十三明十三明十三明	2 二十十二四二十二四二十一线	八日後傷(電話)



